



# 男体

第41号  
平成17年11月1日発行



## 第36回カブラリー 新生 那珂川町 まほろばゆうゆう園小川で 開催！！

10月16日（日）、第36回栃木県カブラリーが、那珂川町まほろばゆうゆう園小川を会場に開催されました。

この秋は毎週末のように悪天候が続き、開催当日の天候も心配されましたが、何とか朝方には雨も上がり、県内各地から集まった約620名のスカウトを迎えることができました。

（詳細は2面に）



目次	
第36回カブラリー	2
アジア学院見学会	3
WB研修所BS第23期	3
富士スカウト面接	4
犬も歩けば橋を渡る？	4
隊長のひとりごと・・・	5
事務局のうごき	6

## 第 3 6 回 栃 木 県 カ ブ ラ リ ー 開 催

会場となった那珂川町は、10月1日に小川町と馬頭町が合併して誕生したばかり。

新しい町名にもなった那珂川のほとりにある「まほろばゆうゆう園」に集合したスカウトは、5つのコースに分かれて町内をハイキング。

地図や目印をたよりにチェックポイントを見つけ、えびせん吸い取りゲームでまずはおやつをゲット。稲刈りも終わった田園地帯を抜け、宝のありかのヒントが隠された最初の目的地を目指します。

丸太渡りをクリアして、那珂川をまたぐ大きな橋をくぐると、那珂川まほろばキャンプ場に到着。暗くて狭い迷路を抜けると、宝のありかを記した地図の片割れがたくさん並んでいます。最初にもらった地図とピッタリ合う片割れを探して地図を完成させると、宝のありかには大きな温泉マーク。



↑えびせん吸い取りゲーム

↓丸太渡りゲーム



開会式で祝辞を述べる渡辺良治那珂川町長

実は那須2団の1期生（手旗とロープが得意とか!）



スタートはじゃんけんで勝った組から・・・

宝のありかは、開会式会場のそばにあった温泉館では？ということで、今度は那珂川の清流を脇に見て、スタンプラリーをしながらスタート地点に戻ることとなりました。

ゴールでは、何やら木でできた記念品をもらい「これが宝？」なんて首をかしげる子もいましたが、そこで指示されたこと～新しいともだちを3人つくって、記念品に名前を書いてもらうこと～はクリアできたでしょうか。

その新しいともだちこそが、今回のカブラリーで得られた一番の宝ですので、ずっと大事にしていきたいと思います。

北部地区組織委員長 大平明生



## アジア学院見学会

本年度も県連グローバル委員会による「アジア学院収穫祭見学会」が、10月8日に那須塩原市で行われました。

今年で4回目となり参加人員も50名を超え、収穫祭参加前に、公民館で事前オリエンテーションを実施し、国際交流・環境問題の課題学習を行ってターゲットバッジ取得へとつなげていきました。

アジア学院はアジア・アフリカの発展途上国の農村指導者を研修に招く国際協力活動です。学園では自給自足を目的に、バイオガスによる炊事や現地で活かせる養豚・養鶏等の説明を受け、スカウト達にとっても有意義な1日となりました。

B.P.の言葉に「世界人たちが子供のころから知り合って友達になれば、すべての国際間の紛争は話し合いで解決することができるだろう。そうすれば戦争は起こらず、世界は平和になるだろう」とあります。

スカウト達もどんどん国際交流の場に参加してください。

県グローバル委員長 橘 豊祐

ぼくは10月8日、ボーイスカウトでアジア学院の見学に行きました。

アジア学院を見学してメタンガスを利用しているのがすごいと思いました。

ブタが出した便を地下のタンクに集めてさい利用してガスを作り、それを生活に利用して料理を作り、それを人が食べるというくりかえし

国際交流のプログラムにて10月8日那須塩原市にあるアジア学院を訪問しました。

アジア学院は発展途上国の農村指導者を研修 勉強にまねく国際協力活動をしているところです。

現在世界中に食べ物が無くて困っている人たちが沢山います。

それらの国々 特にアジア アフリカの発展途上国より毎年30から40名の人たちがそれらの国の農村指導者になるため研修に来ています。

アジア学院の行っていることはこれら農村指導者を育て [食べ物] の自給自足を目指すことです。

そして僕達に出来ることは食べ物を残さず食べること。食べ物を大切にすることです。

食べ物が無くて困っている方々がいることを考え、食べ物を最後まで残さず食べるようにしたいと思います。

今市第2団 ボーイ隊

コブラ班 班長 長谷部 輝



だからです。普通にガスを作るよりも、環境にやさしいガスを作ることができるのだと思いました。

アジア学院は自然を残しながら、そして自然を利用しながら野菜や生活に必要な物を作っているんだなあと思いました。

宇都宮15団

大島 隆輔

## WB研修所BS課程第23期

9月16日(金)～19日(火)の3泊4日、烏山町CCC(栃木県連盟野営場)において、遠く青森県連盟、及び県内の各団から参加者8名で開設されました。

参加者の皆さんと共にこれから大きく成長していくことを願い、野営場内の1本のコブシの木をWB研修所BS課程栃木第23期の記念樹として、育てていくことを誓い合いました。



## 富士章受章

9月3日(土)と、10月1日(土)に県連事務局に於いて、富士章の面接が行われました。

9月は、佐野第4団の阿部敬伍さんと川島光くん、10月は、宇都宮第15団の和良品友大くんが夫々のベンチャー隊長と保護者の同席の下、理事長・コミッショナー等に、プロジェクトのことや、これまでのスカウト活動について等、多少緊張しながらも、和やかに面談を行いました。

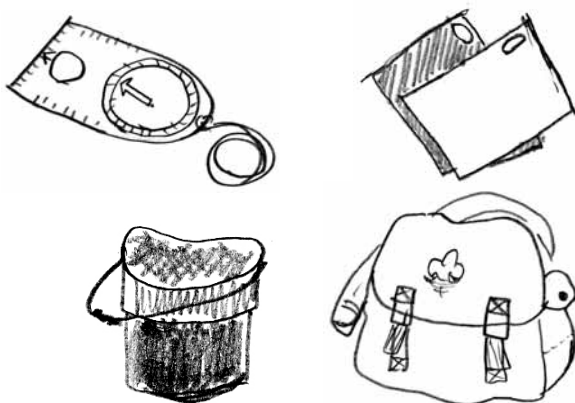
これからもさらに充実したスカウト活動になるよう期待しています。



阿部敬伍くん



川島光くん



和良品友大くん

## 犬も歩けば橋を渡る

10月15日(土)に宇都宮市総合運動公園にて、宇都宮市主催の「花と緑のフェスティバル」が開催されました。

毎年の恒例行事として東部地区各団でこの催しに協力し、朝早くからモンキーブリッジをつくり、参加した子供たちを楽しませています。

今年は、子どもに混じって特別参加のイヌの着ぐるみがモンキーブリッジに挑戦!! 「あたまが重い」「足元がよく見えない」などのハンデを克服し、途中手を振る余裕をみせながら、見事最後まで渡りきりました。(ちなみにメス犬だそうです)



モンキー(サル)の橋をイヌが渡るということで、「犬猿の仲」といわれるように相性の悪い組み合わせですが、来年はイヌ年でもあることなので、仲良く橋渡しができたものと思われます。

なお、この日のNHKお昼のニュースで、この行事が放送されたそうです。

## 隊長のひとごと……

都内某所に、あわただしく動き回る白衣の医師や看護婦の姿もなく、手前には患者さんが座るソファ、奥にはドクターの診療机と本があるだけ、机の周りには注射器1本置いてない、注射器やクスリに頼らない医療を追求している小児科診療所があるそうだ。

これまで、たくさんの子供たちを診てきた経験から、ほとんどの子供の病気は、注射器やクスリに頼らなくても治る事がありますと云う。

何をしているかと云えば、お母さん達に、子供を取り巻く環境、つまり衣食住についてアドバイスするだけ、それでも子供達は、ちゃんと元気に育っていくとの事。

当然ながら病気を治すのは子供自身です。未発達で免疫力もない子供は、すぐに発熱、下痢、嘔吐、咳き込んだりしますが、これらの症状はウイルスや異物など、体によくないものを一所懸命外へ出そうとしている働きですから、何の心配もありません。

それを解熱剤や下痢止めなど、化学薬品を使って無理に止めることは、かえって症状を長引かせる事となります(知人談)。



子育ての真っ只中、息子の嫁に話をしてみた。

「手遅れになったらどうするんですか? まったくも〜」

言いたかったのは、全て放任して置けと云う事でなく、日頃自身は外と内に対して勇敢に戦っていると云う事だから、すべからず、手を差しのべず、「温かく見守る事も大切だよ」と云いたかったのだが……

置き換えて考えてみるに、リーダー共に考え考え金をかけ編みだしたゲームより、解散時の自由時間、仲間と一緒に遊んだ事の方が、一番楽しかったと云われた時のショック。

要は、隊員と指導者間で目線に狂いが生じているのかも。

ならば今から、注射器とクスリのない医療(活動)をするために愛情一本、患者(隊員)との会話をより多く取り入れ、楽しい、そして実のある隊活動を実践しようとする。

「次の患者さん中へどうぞ。どうしました。」

矢板第1団カブ隊長  
三堂地 時臣



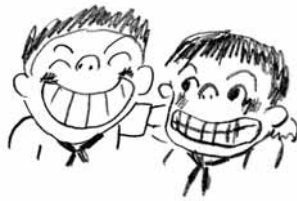
事務局の動き

平成17年

- 9月3日(土) 理事会・富士章面接
- 9月10日(土) グローバル委員会
- 9月19日(月・祝) スカウトの日
- 9月16日(金) WB研修所BS課程栃木23期
- ~19日(月・祝) 烏山町CCC
- 10月1日(土) 各種運営委員長会議・富士章面接
- 10月8日(土) アジア学院見学会
- 10月16日(日) 第35回栃木県カブラリー  
那珂川町
- 10月23日(日) 組織委員会
- 10月29日(土) 4県合同トレーニングチーム研究集会
- ~30日(日) 佐野市 唐沢青年の家

今後の予定

- 11月5日(土) 理事会
- 11月11日(金) 15TC反省会
- 11月12日(土) とちぎ教育の日振興大会
- 11月18日(金) コミッショナー研究集会
- 11月19日(土) 定型外訓練(チーフリング) 真岡市
- 11月26日(土) 南部地区指導者講習会 佐野市
- 11月27日(日) 北部地区指導者講習会 烏山町
- 11月27日(日) 定型外訓練(ナイフ) 鹿沼市
- 12月4日(日) 定型外訓練(救急救命) 佐野市
- 12月18日(日) 県ベンチャースカウト大会事前説明会
- 【平成18年】
- 1月7日(土) 新春の集い(団役員・指導者研修会)
- ~8日(日) 高根沢町
- 1月8日(日) 理事会
- 1月14日(土) 女性リーダーの集い 大田原市
- ~15日(日)
- 1月15日(日) 定型外訓練(ソング) 大田原市



作:をかもと ㊄

発行責任者 日本ボーイスカウト栃木県連盟理事長 森山一政 / 編集責任者 組織委員会委員長理事 黒崎博孝 発行部数 2500部

日本ボーイスカウト栃木県連盟 機関紙

320-0043  
 栃木県宇都宮市桜四丁目2番2号  
 電話 028(621)9800  
 Fax 028(621)9800  
 Email bstochig@m14.alpha-net.ne.jp  
 info@scout-tochigi.jp

ホームページもぜひ見てください。  
<http://www.scout-tochigi.jp>



「男体」は地球環境にやさしい大豆を原料としたインク(SOY INK)を使用しています。